

教育委員会だより

今、教育委員は！

平成27年7月
教育委員 原 拓男

「子供達の成長にたくましさを感じます」

4月に入学した一年生も学校に慣れて元気に登校している姿を見て子供達の成長の早さ、順応する力をたくましく思っています。そんな中、連日猛暑が続いていますが今年は例年より暑さが厳しく感じられます。学校は夏休みに入りましたが、無事故で楽しい夏休みを過ごし休み明けには児童・生徒全員が元気に登校して欲しいと願っています。

「教育委員会の動き」

1 佐久市校長会が切原小学校で行われました。

今年度佐久市教育委員会が行った「電子メディア機器等に関するアンケート」の結果と考察の詳細な報告を行いました。

中でもLINE等を介してネット上のトラブルが小中学生にどのくらい身近な危機として追っているかを各学校や保護者が実態を把握し、その対応に役立てて欲しいと先生方をお願いしましたが、教育委員会としても全市的な啓発の取り組みを検討していきます。

2 岩村田小学校改築事業の起工式が行われました。

同校の老朽化と過大規模解消の為、分離新設の姉妹校として今年4月佐久平浅間小学校が開校しましたが、いよいよ岩村田小学校の改築事業が始まることとなりました。大変喜ばしいことです。長い工事期間に、児童や地域の皆様の交通安全や工事の安全等を確保して素晴らしい校舎が出来るよう願っています。



3 佐久平浅間小学校の竣工記念式典が行われました。

佐久平浅間小学校ではグラウンド整備の完了をもって全ての工事が竣工しました。当日はあいにくの小雨模様でしたので、体育館で全校児童や多くの関係者が出席して式典が行われました。

奇しくもこの日は川上村出身の宇宙飛行士、油井亀美也さんが宇宙に飛び立った日で、佐久平浅間小学校の門出にふさわしい日となりました。同校建設の基本目標は児童がのびのびと活動でき楽しい学校生活を送れる事ですが、油井さんのように大きな夢を持って育っていくことを念願しています。

校舎は3階建てで地域の景観に配慮して屋根は切妻の洋瓦葺、外観は周辺の田園風景にも合うような色彩を使用し、内装には地元産のカラマツを多く使用した木のぬくもりあふれる教室になっています。

また、児童と地域の皆様との交流の場として使用できる多目的ホールを設け、グラウンドには災害時やキャンプの練習などにも使用できる様にカマドベンチも設置しています。

姉妹校である岩村田小学校のシンボルである楓の木も移植しましたが、山川啓介さん作詞、タケカワ・ユキヒデさん作曲の佐久平浅間小学校校歌の歌詞の一節「知識の苗を心に植えて育てていくんだ知恵の木に」のような子供たちになって欲しいと願っています。

4 旧中込学校防災修理工事竣工式が行われました。

明治6年、下中込村は今井、三河田両村と組合立として村内の小林寺を仮校舎にあて中込学校の前身である「成知学校」を創設しました。翌明治7年、村内有志の募金等によりアメリカで西洋建築を学んだ「佐久の先人」市川代治郎棟梁によって建築することが決まり、明治8年に現在の旧中込学校が完成しました。建築に要した費用は6,098円という

大金で、地方の小村としては画期的な試みであり、村民の教育に対する並々ならぬ熱き心がうかがえます。因みに私の考えでは当時の職人の日当が一日25銭ということで計算すると、現在の金額に直すと4億円を超える大きな金額を子供達の教育の為に村民が協力して捻出したと思われ、誠に頭の下がる思いがします。



今回、耐震補強など重要文化財として大切に保存する為の工事が完了しましたので、当時の村民の思いがこもった旧中込学校を市民の皆様や県内外の皆様に見学して戴きたいと思っています。